EIDAI オリジナルカレンダー企画

FOREST SOUL

木へのオマージュ

森は呼吸をし、生きています。そして、人知を超えたパワーを放っています。
木とつきあう…それは森のソウル（魂）と交流すること。2009年カレンダーは私達の
木へのオマージュ（敬意）をカレンダーに託してお届け致します。

2ケ月表示 6枚つづり

次の世代へ、守り伝えたい美しい自然の姿。**EIDAI**は住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することを目指しています。大切な自然環境を守るために、できることからはじめたい。**EIDAI**カレンダーは環境に配慮したエコカレンダーです。

お客さまに喜ばれる大判カレンダー

728mm×515mmとインパクトのあるビッグサイズです。

728mm

515mm

※デザインは、変更される場合があります。

金具を使わないエコバインド

留め金具を廃止し、熱で溶けるホットメルト糊で用紙と用紙を接着。
見た目も美しく、可燃ごみとして処分できる環境に優しいバインドです。

エコロジーインキの大豆インキ

印刷には、大豆インキ採用。従来のインキと違い、大気汚染の原因である揮発性有機化合物の発生が少なく、また、紙と分離しやすいためリサイクルにも適しています。

土に還る包装 生分解ポリ袋

包装用のポリ袋は土に埋めると微生物の働きで約50日で水と炭酸ガスに生分解されます。
活性フェロキサイト（窒素酸化鉄）が配合されており、焼却時はダイオキシンの生成を抑制します。

365日 ご店名をPR!

貴社のご店名を印刷いたします。
※ご店名刷り込み部分は黒1色刷りとなります。

“風景写真を撮るということは自然を『模写』すること”

「美しいと感じる自分の気持ちを掘り下げ、カメラを絵筆にフィルムをキャンバスに見立て作品作りを行う。風景写真を撮るということは自然を『模写』すること」と丹地氏。
日本に住む人々が持ち続ける自然に対する感性を大切する氏の作品を通して、
EIDAIの木へのオマージュ（敬意）をお届けします。

Photo 写真 丹地保堯（たんじ やすたか）

1943年広島県生まれ。1968年東京デザイナー学院商業デザイン科卒業。
1973年よりフリーのグラフィックデザイナー、1973年フォトグラファーに転向。
1981年作品集『光の記憶』が西ドイツ・シュツットガルト国際カレンダー展にて最優秀カラー写真賞を受賞。国際芸術写真展（中国・北京）入選。
1982年より全国各地で精力的に写真展を開催。
2008年丹地保堯作品集「CYCLE」がドイツ国際カレンダー展にてグランプリ「コダック賞」受賞など、受賞歴多数。
主な写真集に「50本の木」（詩・谷川俊太郎／あすか書房）、「桜の木」（文・安達瞳子／小学館）、「丹地保堯写真画集」（求龍堂）がある。
NPO国際写真交流協会（IPEA）会長

制作 Story

EIDAIカレンダーの制作はまだ新緑の眩しい4月ごろからスタート。写真家、デザイナーとの打ち合わせを何度も繰り返しコンセプトや作品とじっくり対峙することを大切にして制作していきます。なかでもカラーポジを直接目で見て感じることを重視します。**EIDAI**カレンダーは、ひとつひとつの工程を大切に作られています。

Design デザイン 太田徹也（おおた てつや）

1941年生まれ。
1963年桑沢デザイン研究所を卒業後田中一光デザイン室へ。
1975年フリーランスとなり、太田徹也デザイン室を設立。
全国装幀コンクール通産大臣賞、ADC賞、原弘賞など受賞多数。

※デザインは、変更される場合があります。

さらに、表紙は有能な年間カレンダー。

もう1枚のカレンダーとしてお使いください。

表紙の年間カレンダーは、ひと目で年間の予定が見て取れる便利な1枚です。切り離した後も、もう1枚のカレンダーとしてお使いいただけます。上棟吉日の日付も入り、毎年、カレンダーをお渡ししたお客様に大変好評の表紙です。

九星学 上棟吉日を表示

九星学により算定された棟上げによいとされている吉日を表します。